

平成21年12月8日

かすみがうら市長 坪井 透 様

かすみがうら市行政改革懇談会
会 長 林 寛 一

かすみがうら市の行政改革の推進について（提言）

本懇談会においては、かすみがうら市の行政改革の実施状況を引き続き検証するとともに、さらなる推進に向けた協議を行いました。

市の財政状況は、税収の減少、三位一体の改革による地方交付税の減少など、非常に厳しい状況を迎えております。先般、国政においても行政刷新会議の下で、2010年度予算概算要求の無駄を洗い出す「事業仕分け」が行われ、地方自治体においても積極的な改革が求められており、行政改革はこれまで以上に重要な役割を担っています。

今後とも、こうした現状をしっかりと踏まえながら、着実かつ効果的な行財政運営の構築にいつそう努められるよう要望し、下記のとおり提言します。

記

目標だけでなく成果についても、より具体的な数値（金額）で示すこと

総じて、取組として実施したということは示されているが、実施した結果として、どのような成果が現れたのかという点についてははっきりしていない。行政サービスには数値化できないような多面的・総合的な評価もあり、そうした評価を無視することはできないが、行財政改革の推進には具体的な数値として成果を示す必要もある。

表記にあたっては、よりわかりやすく明確な表現をすることは勿論のことであるが、経費削減や事業を促進した結果、それがどのような効果があったのかについてはできるだけ数値（金額）でわかりやすく示すこと。

各推進項目への取り組みにあたっては、統一的に一定レベルを保つこと

推進項目毎によって、取組結果の表記内容の密度及び質について、大きな差が見られるので改善すること。

また、担当部門や個人の意識レベルの高低によって、それら個々の推進項目の進捗度合いが異なることがないよう、指導力（リーダーシップ）を発揮して足並みを揃え、組織的に一貫性の保たれた取り組みを行うこと。

人事評価制度の推進にあたっては、職員のやる気に繋がる組織構築を目指すこと

客観的な評価を行うことの技術的難しさがあると思われるが、公平を期し、職員の資質向上・能力開発を積極的に進めること。また、市を取り巻く環境の急速な変化に適切に対応すべく、組織能力を高めるために必要なこととして、職員全体の業務習熟度をいっそう向上させ、意識改革や改善への意欲の増進に繋がるような形で推進すること。

推進項目別のほか、全体の進捗状況を総括した形での評価や考察を行い、その後の取り組みに繋げること

全体の総括評価という観点から、現在の手法や進め方とその結果を検討し、進捗状況が思わしくないと判断すれば、システム（組織）それ自体が機能していないのか、個々の進め方に問題があるのかなどを検証し、それを改善することが必要である。

また、全体の総括評価を年度ごとに振り返り、それを「どのように評価し、何が課題で、今後どのように進めていくのか」という PDCA に結びつけて、組織全体としての取り組みに活かしていくこと。

平成22年2月19日

かすみがうら市長 坪井 透 様

かすみがうら市行政改革懇談会
会 長 林 寛 一

かすみがうら市の行政改革の推進について（提言）

本懇談会においては、第2次かすみがうら市行政改革大綱及び行政改革実施計画（集中改革プラン）の策定にあたり、行政改革の推進に向けた協議を行いました。

合併から5年が経過し、少子高齢化や景気低迷などの社会情勢からも、今後も市の財政はさらに厳しい状況になり、また一方では、地方分権の推進により、地方自治体として求められる役割はさらに大きくなっていくことが予想されます。

こうした現状の中で、今後も安定した行政サービスの提供を行うためにも、自立した積極的な行政改革・行政運営に取り組まれるよう要望し、下記のとおり提言します。

記

職員が一丸となって改革を実施するためには、全体の方向性を明確にすることが必要であると考えられるため、市として向かうべき将来のビジョンを明確化し、その実現に向けて熱意を持って取り組まれない。

わかりやすい指標を示すことが市民理解に繋がり、また、計画を遅滞なく進めるためにも目標の設定は必要であることから、財政計画を伴う、より具体的な数値目標をもって取り組まれない。

これまでの取組や目標達成の結果で十分だと考えるのではなく、厳しい市の財政状況と分権化に伴う事務量の増加に対し、改めて現状を検証し、さらなる改革に取り組まれない。

計画実施にあたっては、その進捗において先送りのないように、庁内体制を強化して、P D C Aサイクルのどこに問題があるのかを検証し着実に取り組まれない。

事務事業の見直しにあたっては、事業仕分けの手法をさらに検証して市民目線に立って取り組まれない。

本懇談会での提言内容の反映手法について、より効果的な仕組みを検討されたい。